三鷹市立南浦小学校　令和8年度【生活】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		○学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、児童が気付いたことや思ったことを伝えていた。 ○朝顔を育てる学習では、お世話をしたり、様子を観察したりして、植物の成長に関心をもつとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとする児童が多い。 ○学校探検を通して、学校の施設の様子を知り、学校生活への関心を高めていた。また、２年生と関わることによって、学年を越えた人と関わることのよさを実感していた。	○幼児期やこれまでの経験を思い起こす中で、経験の違いを把握し、児童の思いに寄り添った具体的な活動や体験を設定していく。 ○他教科と関連させながら、生き物を探したり、自然と関わったり、遊びを工夫したりできる場の工夫をする。 ○1年間の成長を振り返る活動を通し、幼稚園・保育園児と直接交流できる計画を考える。 ○自分自身や自分の生活、周囲の人々との関わりについて考え、児童が気が付いたことを伝えられるようにする。 ○児童から出た表現を大切にし、意見を交流させながら考えや気付きを広げる。
第2学年	○他教科と関連させながら、野菜を育てたり、自然と関わったり、遊び方を工夫してきた。 ○1年間の活動を振り返りながら、新1年生との学校探検を計画し、実行することができた。 ○児童から出た表現を大切にし、意見を交流させながら考えが広がった。	○学校探検では、昨年の経験を思い出しながら、意欲的に活動した。1年生を楽しませるために何ができるかを仲間と共に知恵を出し合った。上級生としての意識が芽生え頼もしく感じたが、学校探検が終わると、その意識も長続きしなかった。 ○自分で選んだ野菜を育てる学習では、収穫を楽しみにしながら大切に育てる児童が多かった。観察では、五感を使うことに慣れてきた。他の野菜との違いにも気付くようになった。 ○地域との関わりは、希薄な児童が多い。よく行く公園や近くのコンビニは知っているが、公共の施設について知らない児童が多い。 ○自分の思いを発表できるが、友達の発表を最後まで聞けない児童が多い。	○「うごくうごくわたしのおもちゃ」では、楽しめるようなおもちゃにするために、試しながら、相談しながら作れるような場にする。また、お店がスムーズに動くための役割分担の大切さを伝える。 ○観察カードは、児童によって記録の仕方に差があるので、観察ポイントを的確に伝え、場の設定や活動内容を考えるようにする。 ○南浦小の地域は、お店や公共の施設が他の地域に比べて多い。自分の住む地域に、少しでも興味・関心をもち、この地域の良さに気が付けるようにする。 ○話を聞く時の意識と姿勢を徹底させる。
第3学年			
第4学年			
第5学年			
第6学年			